

人と環境にやさしい 持続型のまちづくり

新百合山手は、新都心・新百合ヶ丘駅周辺地区の形成に大きく関わる大規模なまちづくりです。そのため計画にあたっては、周辺地区への貢献、環境や少子高齢化対応など地域や社会の動向に対応するまちづくりをめざしました。

そのため、まちづくりにあたっては「5つの視点」を設定し整備を進めました。これにより持続可能となる新しい新都心像を築き上げています。

万福寺地区の風景を将来へつなぎ、 コミュニティを発展させるまちづくり

万福寺地区で脈々と受け継がれてきた緑や文化などを継承し、さらに発展させていくというコンセプトを体現するまちづくりは、基盤整備や建物建設により完了するわけではありません。まちづくりは半永続的なものであり、そのための仕組みづくり・コミュニティづくりを土地区画整理事業の中で構築します。いつの時代にもこの地に住まう方々が豊かな暮らしを享受し、主体的にまちをより良くしていけるような環境づくりを行います。

<まちづくりの5つの視点>

環境共生

- ・計画地の約1/4を公園・緑地とし、保存・復元・修復の緑とビオトープの創造
- ・景観形成地区指定による景観の保全と緑の担保
- ・新百合山手・公園管理運営協議会設置
(緑の維持管理組織)



高度情報化

- ・光ファイバー敷設
- ・まちのコミュニティツールとなるホームページ
- ・ネットワークを活用したタウンセキュリティ

ユニバーサルデザイン

- ・うるおいにあふれた安全で快適な歩行者空間の確保
- ・目的地に迷わず行けるサインの設置
- ・段差の解消、点字ブロックや信号機などの設置



コミュニティ

- ・多世代、多様な人が住むまちづくり
(戸建街区、集合街区など、様々な居住環境の創出)
- ・街への帰属意識を高め、誇りを醸成する
タウンネーミング「新百合山手」
- ・事業進捗に合わせた地域イベントの開催
- ・十二神社、万福寺会館(町内会館)の再建



安心・安全

- ・タウンセキュリティ(防犯カメラ・常駐警備員)
- ・円滑かつ安全な地域交通ネットワークの実現
- ・フットパスなど歩行者に配慮した道路
- ・周辺地区環境の向上
(快適で魅力的な道路や公園などの配置)



■戸建街区イメージパース



■西幹線道路イメージパース



※掲載のパースはイメージであり、実際とは異なります。